

「教員＝専門職」を保障するシステム としての教職大学院

露口健司（愛媛大学教職大学院・専攻長）
tsuyuguchi.kenji.mg@ehime-u.ac.jp

専門職は6年間以上の養成期間を要する

- 医師（6年間＋研修生）
- 薬剤師（6年間養成）
- 研究者（学部4年＋大学院修士・博士5年）
- 弁護士（学部4年＋ロースクール2年）
- 臨床心理士（学部4年＋大学院2年）
- 経営管理職（学部4年＋ビジルススクール2年）
- 公認会計士（学部4年＋専門職大学院等2年）
- その他、公衆衛生や公共政策の専門職大学院

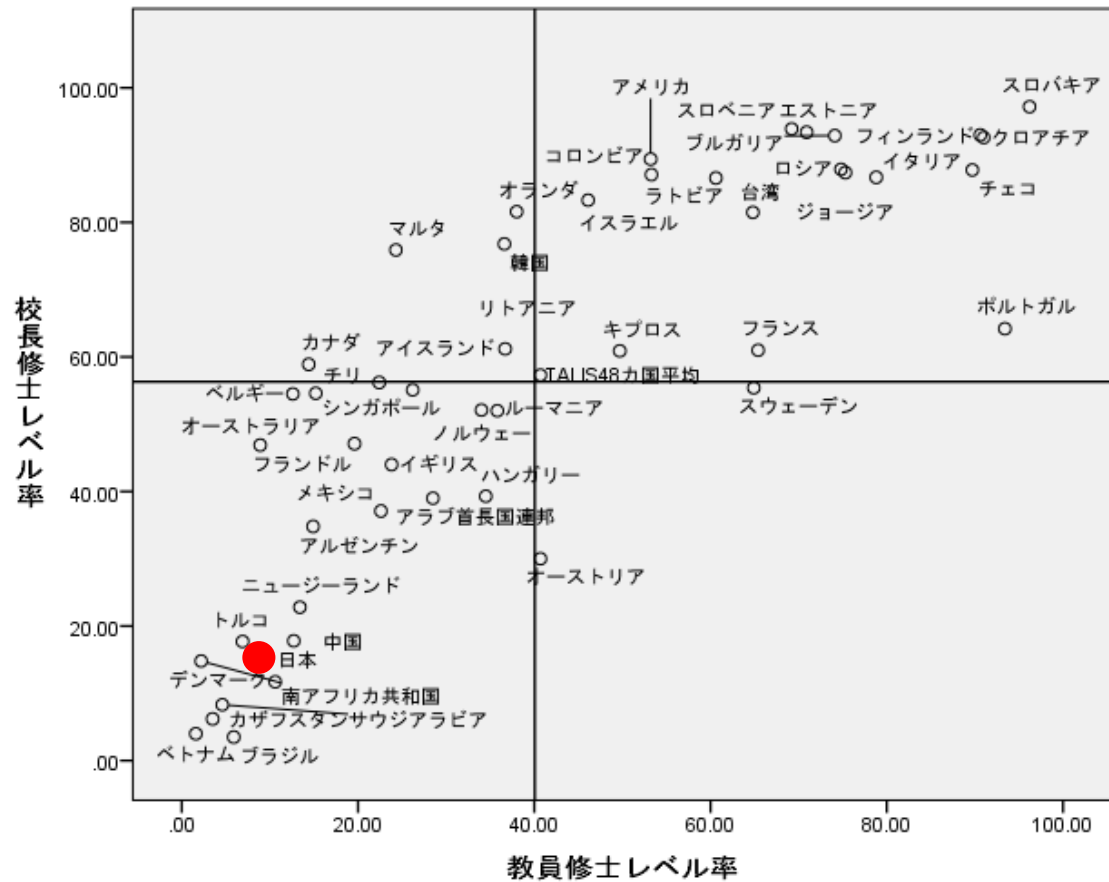
教員（学部4年＋教職大学院2年）

教員修士レベル率と校長修士レベル率

日本の教員は世界水準で見ると低学歴。

校長に至っては資格に疑念をもたれる可能性がある。

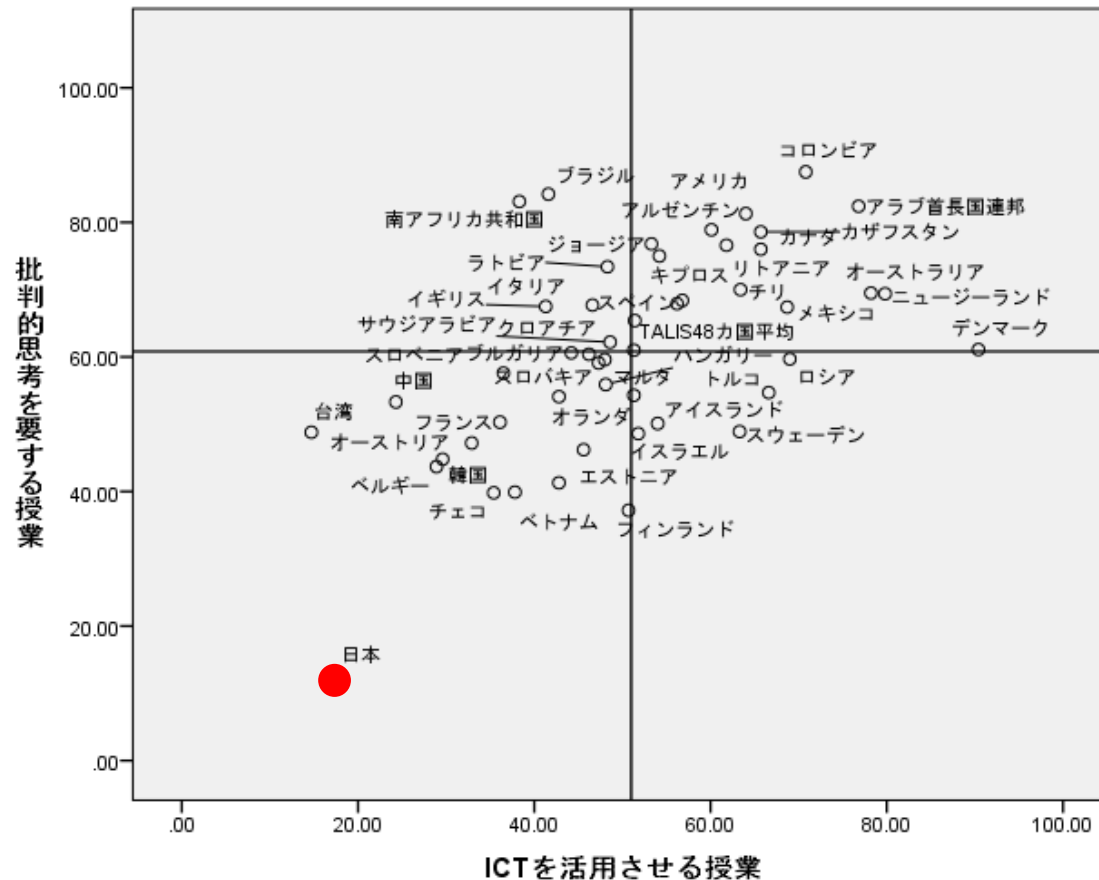
世界の教員は経験至上主義ではなく、理論と実践の往還で動いている。



ICT活用×批判的思考 [肯定率]

批判的・創造的思考、ICT活用能力を育む授業ができていない。

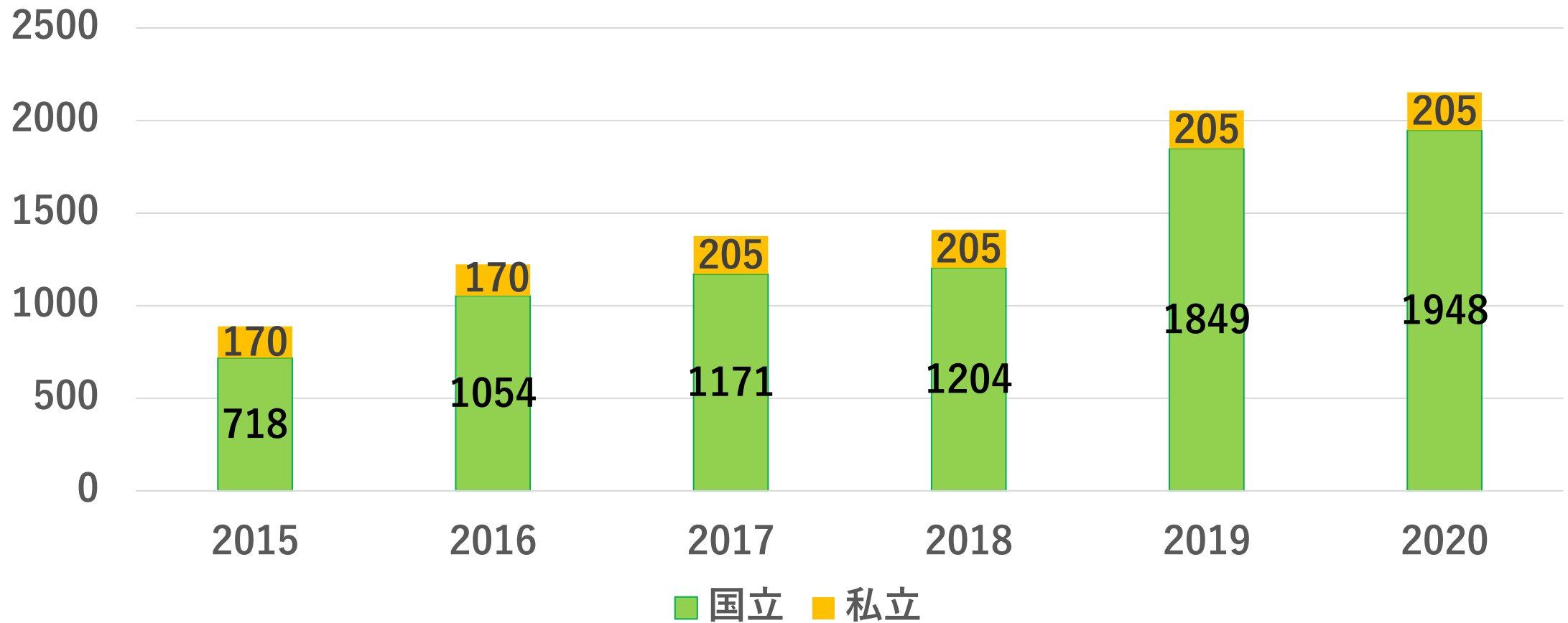
Society5.0時代を生き抜く人材育成は可能か？



GIGAスクールの世界に、チョーク&トークの実習、数回の授業経験で飛び込もうとしている!!

全国教職大学院入学定員の推移

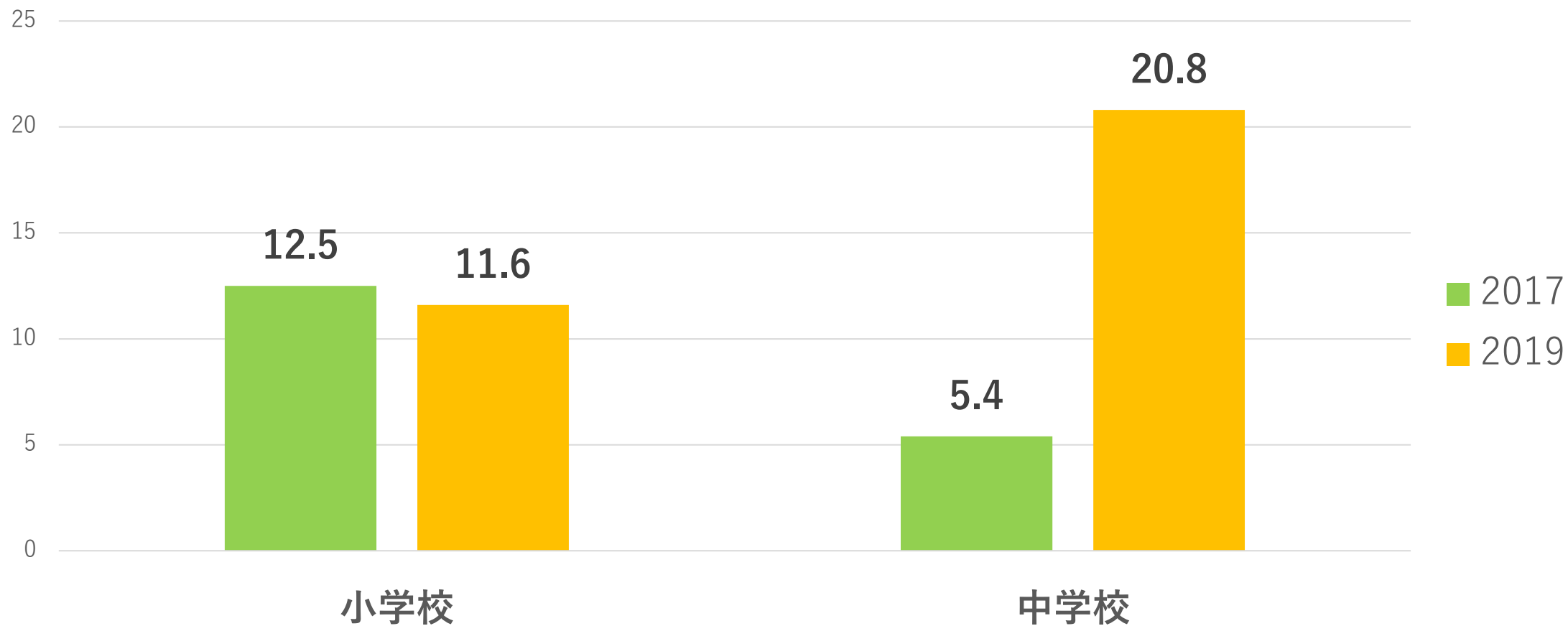
愛媛大学教職大学院は2020年度から定員を15名から40名に増員!!
定員規模は国立総合大学では全国第3位



短期大学 ⇒ 4年制大学 ⇒ 大学院へ

愛媛県初任者教員の大学院修了者率 〔2017-2019年度初任者〕

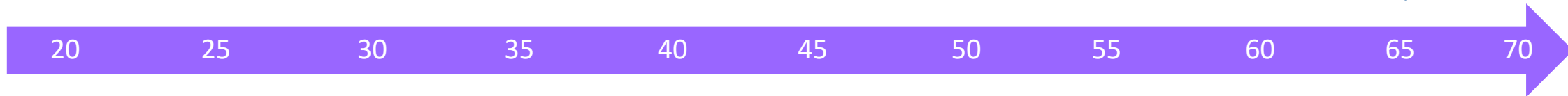
教育学部以外の学部から
教職大学院に進学し、授
業論・学級経営論を学び
学校現場へ!!



教職キャリアの大変革期!!

定年延長で65歳。そこから再任用で70歳。
職業キャリアが10年延びる??

現在の直線上に未来はない!!



40歳以上の
教員

現場経験10年以上

教職修士

学部卒業者

教職修士

現場経験10年以上

教職博士 (Ed.D)

中央教育審議会でも議案となっている!!

安心の上位号棒スタート!!

愛媛県

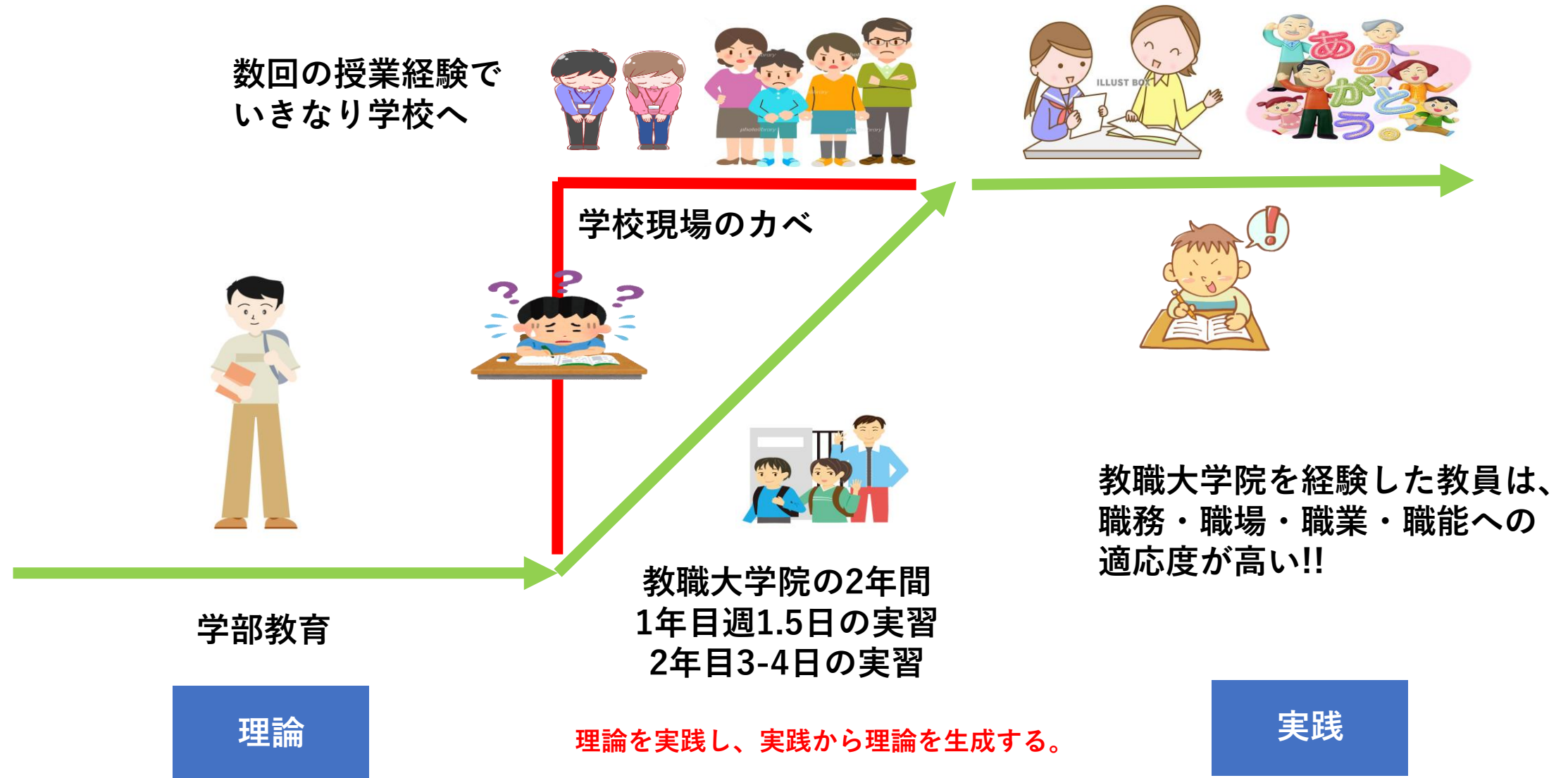
大卒小中教員 2級15号給198,400

大学院修了者 2級27号給220,100

**教職博士を取得して、
教頭・校長・教育長・大学教員等へ**

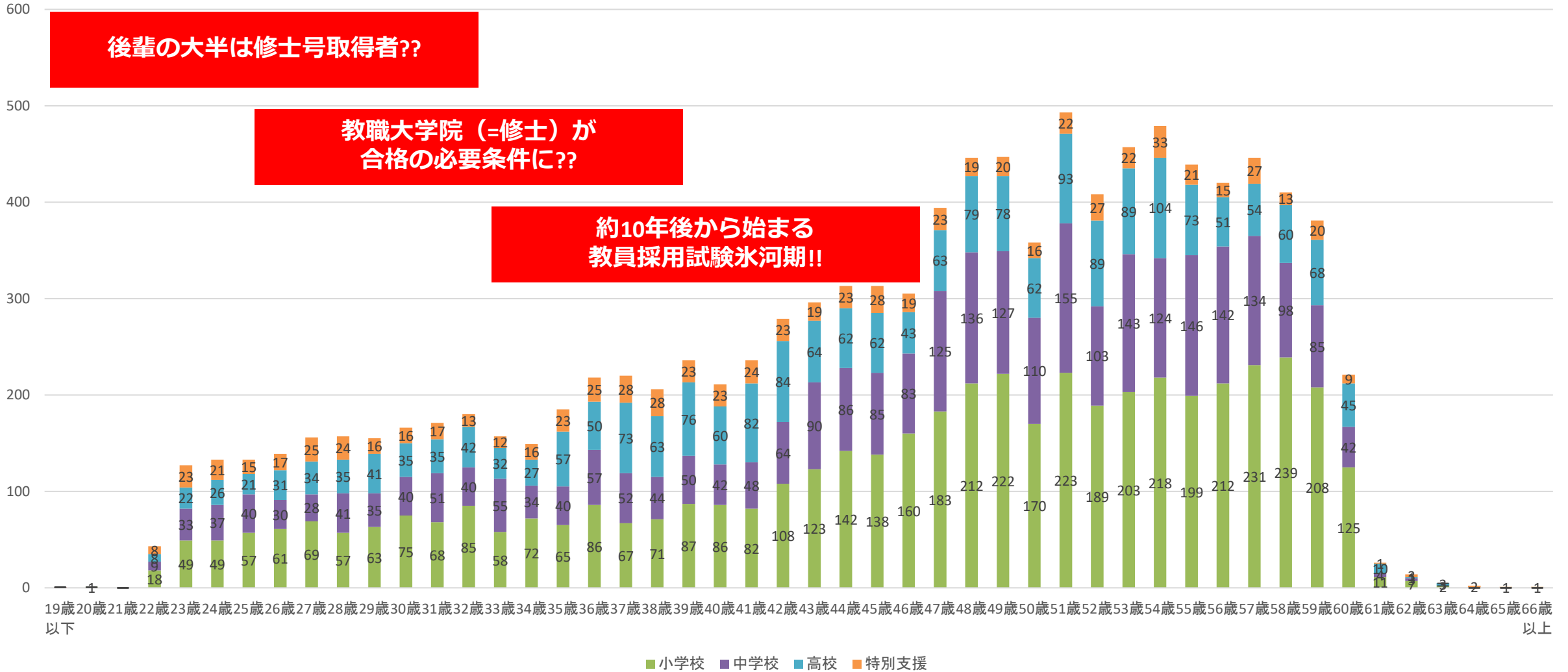
教諭の最高が40万円、校長の最低が40万円
日本の市教育長1008万、町村教育長848万
大学教員200万～2000億
米国の教育長は、約60%が博士課程進学者。
約30%が博士号 (Ed.D) 取得。

教職への適応を促進するグライダーモデル



愛媛県

教員年齢構成2016から見える未来



愛媛教職大学院には誰が進学しているの？

【2020年度事例】

愛媛大学教職大学院100% (43名)

現職教員
30%
(13名)

愛媛大学
教育学部
33%
(14名)

愛媛大学
理・法・工
26%
(11名)

愛媛大学以外
11%
(5名)

学部卒業者の83%は、愛媛大学出身学生

理念・カリキュラム・授業



愛媛に求められる教職大学院とは!!

スキルアップとキャリアアップを保障する
「地域の先端教育研究拠点」

● Professional Development

高度専門職人材の育成拠点

世界水準の専門職人材

● Research Development

先端知識の生成拠点

Society5.0対応人材

● Innovation & Empowerment

愛媛の教育改革拠点

学校・地域活性化の中核人材

愛媛大学Society5.0時代の教員養成プラン（案）

附属学校をGIGAスクールの
先端モデル校に

附属学校を拠点とした
学習モデル開発・共有

ビッグデータ生成の自
動化システムを開発

データサイエンスセン
ターとの共同事業

EBPMによるの教員養成
カリキュラム提案



2020

Phase1 :
ICT環境整備

教職大学院カリキュラム検討



2021

Phase2 :
学習／校務システムの
活用法開発・共有

教職大学院カリキュラム検討



2022

Phase3 :
高度情報技術による
ビッグデータ生成



教育学部カリキュラム検討

2023

Phase4 :
データサイエンスを
活用したデータ解
析・表現・推奨



2024

Phase5 :
意思決定・行動への
影響評価



INNOVATIVE JAPAN
世界トップレベルの高学力・高意
欲県の実現を支える愛媛大学

【愛媛大学GIGAスクール・アライアンス】

大学本部・教育学部・教職大学院・附属学校・データサイエンスセンター・地域先進校・教育委員会・教育センター・民間企業

愛媛大学教職大学院コース設定

愛媛大学 教職大学院

リーダーシップ開発コース（5名）

- **現職教員**（学校管理職候補者）を対象
- 教員個々の指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献でき、また、教員相互をはじめとして、学校と保護者・地域との間に連携協力関係の基盤となる信頼を構築するリーダーシップを発揮できる学校管理職を養成する。愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

愛媛の教育改革を推進するリーダー候補の育成

教育実践開発コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる学級経営・生徒指導・ICT教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

校内研究を推進するリーダー候補の育成

教科領域コース（15名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる教科指導についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

教科指導・研究を推進するリーダー候補の育成

特別支援教育コース（10名）

- **学部卒業者、臨時採用教員、現職教員**を対象。
- 学校現場に出て即戦力またはミドルリーダーとして活躍できる特別支援教育についての高度な実践力と、教員個々の実践的指導力を目標達成に向けて統合する組織力の向上に貢献できる教員の育成

特別支援教育・研究を推進するリーダー候補の育成

愛媛県教育委員会が教員育成指標において求める実践の指導力・組織力・信頼構築力・人間力の基盤を形成する。

DP1：知識・理解

学校改善・授業改善等に関して高度な専門的知識を習得している。

DP2：技能

学校改善・授業改善等にかかわる高い技能を身につけている。

DP3：思考・判断・表現

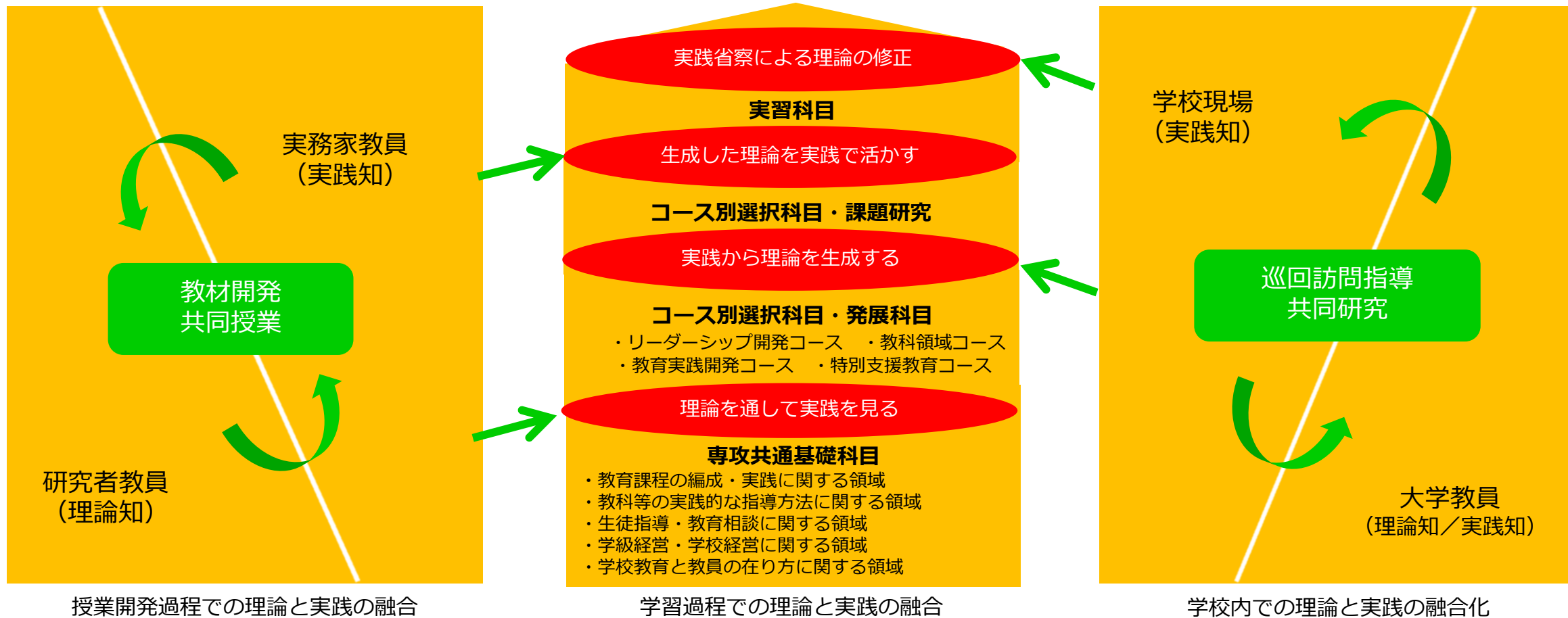
学校教育にかかわる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方を適切に考え、高度な実践力をもって学校改善・授業改善等に取り組むことができる。

DP4：関心・意欲・態度

学校に対する社会のニーズと自己の学習課題・研究課題を明確に意識し、実践を省察しつつ先導的に学習し研究する高度な教育実践力をもった専門的職業人として、自己の使命と責任とを自覚し、自主的に社会に貢献しようとする。

2年次

1年次



大学・教育委員会・連携協力校の連携協力体制

AP1：知識・理解

教職大学院での履修に必要な基本的専門知識を習得している。

AP2：技能

教職大学院での履修に必要な基本的技能を習得している。

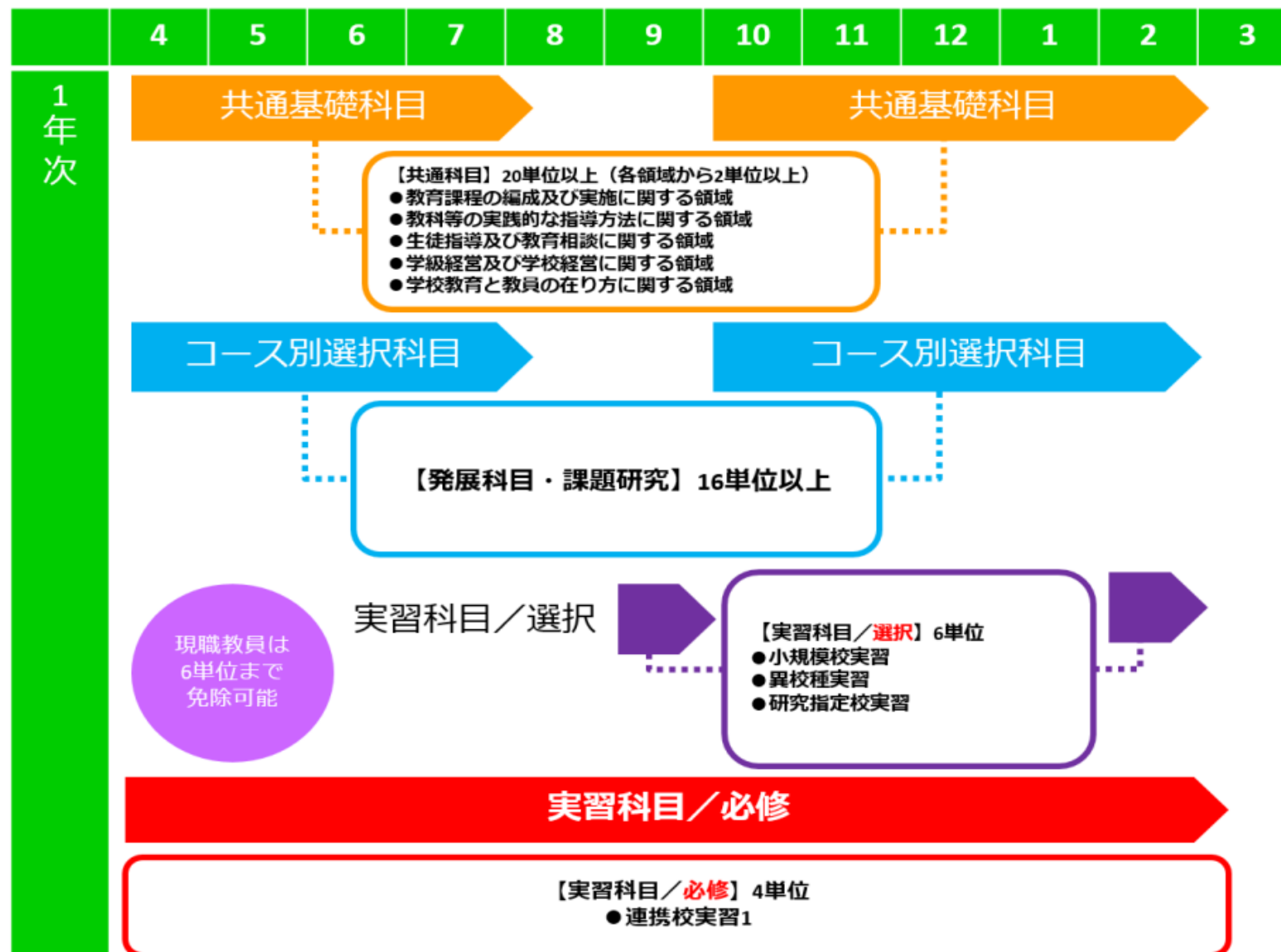
AP3：思考・判断・表現

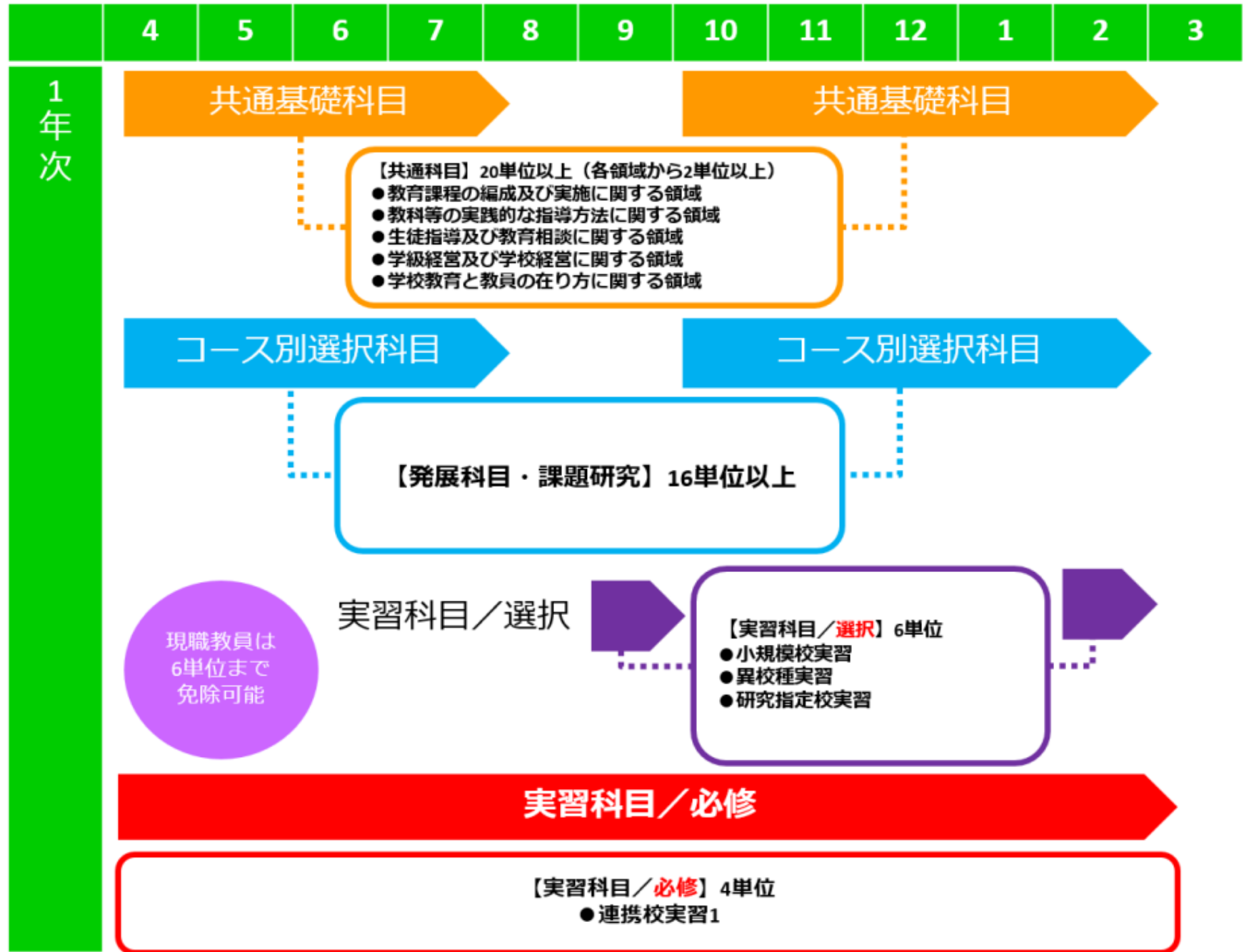
教育をめぐる現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方を総合的に考え、その課程や結果を適切に表現することができる。

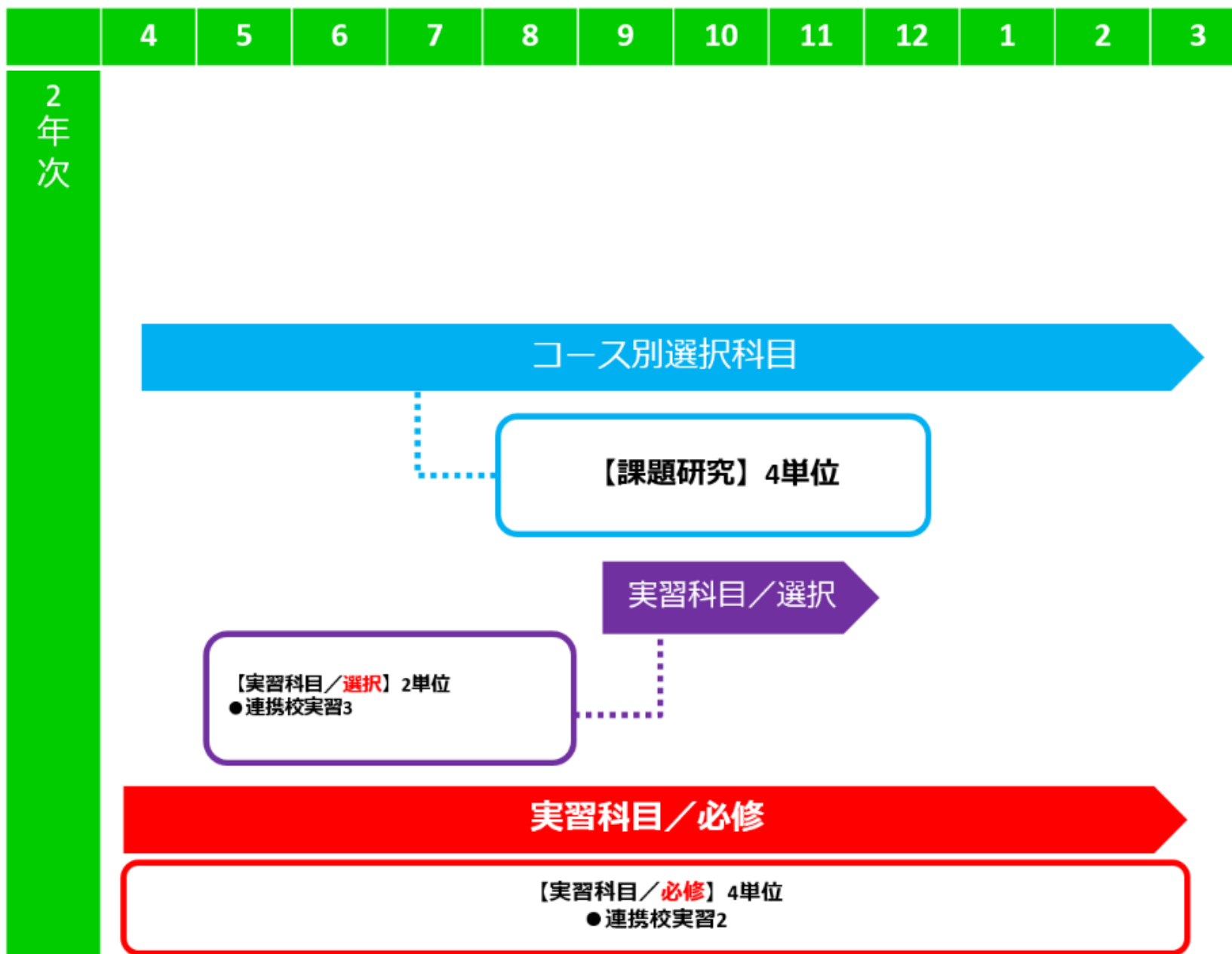
AP4：関心・意欲・態度

自己の学習課題・成長課題を明確に意識し、教師として自主的にそれらに取り組もうとする意欲を有し、自発的に社会に貢献しようとしている。

リーダーシップ開発コース







専攻共通基礎科目（20単位）

区分	領域	授業科目	リーダーシップ開発	教育実践開発	教科領域	特別支援教育
			20単位	20単位	20単位	20単位
専攻共通基礎科目	教育課程の編成及び実施に関する領域	授業研究の開発実践	○	○		
		授業開発の理論と実際			○	○
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	心の教育の理論と実践			○	○
		授業における学習支援と指導法の事例分析	○			
		ICT教育の実践研究	○	○		○
	生徒指導及び教育相談に関する領域	小学校英語教育の実践研究		○		
		子どもの発達と感情		○	○	○
		生徒指導・進路指導の実践研究	○			
		子ども理解の心理アプローチ（調査法）		○	○	○
	学級経営及び学校経営に関する領域	特別支援教育の理論と実践		○	○	○
		学級経営の理論と実践		○	○	○
		学校組織のリーダーシップ	○		○	○
		データを活用した学校経営（調査法）	○			
	学校教育と教員の在り方に関する領域	子どもの資質・能力を高める学校経営論	○			
		教員の成長と職業倫理	○			
		教師のライフヒストリー省察と資質能力開発		○	○	○
学校・家庭・地域の連携論		○		○	○	
愛媛の教育改革		○	○	○	○	

※赤字は松山市教育研修センターでの公開授業

リーダーシップ開発コース
コース別選択科目（16単位）

発展科目

エビデンスに基づく教育政策・事業分析	2
人材育成演習	2
教員研修プログラム開発演習	2
カリキュラムマネジメントと校内研修	2
信頼を構築する学校危機管理	2
地域とともにある学校の経営	2
学校改善の実践的研究	2

課題研究

学校改善課題研究1	◎	2
学校改善課題研究2	◎	2

注1) 数値は単位数

注2) ◎は必修科目、○は推奨科目

教育実践開発コース
コース別選択科目（16単位）

発展科目

		学級経営高度化 プログラム	生徒指導高度化 プログラム	ICT教育高度化 プログラム
教材開発高度化演習	2	○	○	○
特別な教育ニーズへの対応	2	○	○	○
学級経営の事例研究	2	○		
教育課題解決のための教育プログラム開発演習	2	○		
児童生徒・保護者の教育相談実践	2	○		
集団づくりの道徳論的アプローチ	2	○		
生徒指導機能を生かした学習指導	2		○	
子どもの問題行動の事例研究	2		○	
生徒指導と特別活動の実践研究	2		○	
進路指導の実践研究	2		○	
デジタル教材開発とその利用方法	2			○
ソフトウェアを活用した校務支援	2			○
プログラミングを活用した授業実践	2			○
ICTを活用した授業実践開発	2			○

課題研究

授業改善課題研究1	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究2	2	◎	◎	◎
授業改善課題研究3	4	○	○	○

教科領域コース／コース別選択科目（16単位）

発展科目

		言語社会教育系プログラム		自然科学系プログラム		芸術生活健康系プログラム	
教科指導力高度化演習基礎	2	○		○		○	
教科指導力高度化演習発展	2	○		○		○	
		教材研究の基礎理論（現代の国語）	2	教材研究の基礎理論（代数）	2	教材研究の基礎理論（スポーツ）	2
		教材の開発と実践（現代の国語）	2	教材の開発と実践（代数）	2	教材の開発と実践（スポーツ）	2
		教材研究の基礎理論（言語文化）	2	教材研究の基礎理論（幾何）	2	教材研究の基礎理論（健康）	2
		教材の開発と実践（言語文化）	2	教材の開発と実践（幾何）	2	教材の開発と実践（健康）	2
		教材研究の基礎理論（書写書道）	2	教材研究の基礎理論（解析）	2	教材研究の基礎理論（食物）	2
		教材の開発と実践（書写書道）	2	教材の開発と実践（解析）	2	教材研究の基礎理論（被服）	2
		教材研究の基礎理論（歴史）	2	教材研究の基礎理論（応用数学）	2	教材の開発と実践（食物・被服）	2
		教材の開発と実践（歴史）	2	教材の開発と実践（応用数学）	2	教材研究の基礎理論（保育・家庭生活）	2
		教材研究の基礎理論（地理）	2	教材研究の基礎理論（物理）	2	教材の開発と実践（保育・家庭生活）	2
		教材の開発と実践（地理）	2	教材の開発と実践（物理）	2	教材研究の基礎理論（器楽）	2
		教材研究の基礎理論（公民）	2	教材研究の基礎理論（化学）	2	教材の開発と実践（器楽）	2
		教材の開発と実践（公民）	2	教材の開発と実践（化学）	2	教材研究の基礎理論（鑑賞・創作）	2
		教材研究の基礎理論（英語学・言語科学）	2	教材研究の基礎理論（生物）	2	教材の開発と実践（鑑賞・創作）	2
		教材の開発と実践（英語学・言語科学）	2	教材の開発と実践（生物）	2	教材研究の基礎理論（歌唱）	2
		教材研究の基礎理論（第二言語習得）	2	教材研究の基礎理論（地学）	2	教材の開発と実践（歌唱）	2
		教材の開発と実践（第二言語習得）	2	教材の開発と実践（地学）	2	教材研究の基礎理論（絵画・彫刻）	2
				教材研究の基礎理論（電気）	2	教材の開発と実践（絵画・彫刻）	2
				教材の開発と実践（電気）	2	教材研究の基礎理論（デザイン・工芸）	2
				教材研究の基礎理論（機械）	2	教材の開発と実践（デザイン・工芸）	2
				教材の開発と実践（機械）	2	教材研究の基礎理論（美術理論・美術史）	2
				教材研究の基礎理論（材料加工）	2	教材の開発と実践（美術理論・美術史）	2
				教材の開発と実践（材料加工）	2		

課題研究

教材開発課題研究1	2	◎		◎		◎	
教材開発課題研究2	2	◎		◎		◎	
教材開発課題研究3	4	○		○		○	

特別支援教育コース コース別選択科目（16単位）

発展科目

特別支援教育総論		2
障害児の聴能の理論と実際		2
聴覚言語障害への心理学的対応		2
聴覚障害教育の理論と実践		2
聞こえの困難への教育的対応		2
認知機能の困難への心理的対応		2
運動機能の困難への心理的対応		2
保健医療福祉との連携と医療的対応		2
学校における支援体制		2
個別の指導計画の作成と実施		2
社会的自立・就労の指導		2
重複障害児の教育実践		2
読み書き困難への対応		2
計算・推論困難への対応		2
行動上の問題への対応		2
アセスメントの方法と総合的解釈		2

課題研究

特別支援教育課題研究1	◎	2
特別支援教育課題研究2	◎	2
特別支援教育課題研究3	○	4



4/21～6/10まではすべてオンライン授業
6/11以降は、大半の授業を対面で実施

ネットワークを活用した実習科目

実習科目（10単位）

- 異校種実習（1年次2週間＝2単位）
受験・配属予定とは別の校種で学びます。⇒組み合わせ自由です。
- 小規模校実習（1年次2週間＝2単位）
複式授業等について学びます。⇒小規模校×ICT
- 研究指定校実習（1年次3日間＝2単位）
全国から研究先進校を選び、訪問・観察します。⇒ICT教育の研究指定校
- 連携校実習（**1年次＝4単位**、2年次＝4単位＋2単位）
1年次は、週1.5日程度、学校で学びます。⇒週2日の実習

教職大学院 令和2年度 時間割（リーダーシップ開発／教育実践開発）

【前期】

	月	火	水	木	金
第1時限	(愛媛の教育改革準備)	教科指導力高度化演習 基礎 (教科領域コース)	巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	◎愛媛の教育改革 (城戸茂・露口健司・高橋葉子・藤堂浩伸)	◎授業における学習支援と指導法の事例分析 (向平和・遠藤敏朗・立松大祐)	巡回訪問指導予定 ◎子どもの資質・能力を高める学校経営論 (吉田慎吾・山内孔・露口健司)	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	◎授業研究の開発実践 (兵藤清一・高橋葉子・藤堂浩伸)	◎授業開発の理論と実際 (吉村直道・高橋葉子・井上洋一・兵藤清一)	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	◎学校組織のリーダーシップ (露口健司)
第4時限	◎小学校英語教育の実践研究 (立松大祐・池野修)	◎ICT教育の実践研究 (大西義浩・森慎之助・玉井輝之・井上洋一・日野克博)	◎特別支援教育の理論と実践 (立入哉・加藤哲則・吉松靖文・榎木暢子・苅田知則・中野広輔)	巡回訪問指導予定	◎子どもの発達と感情 (橋本巖)
第5時限	◎教員の成長と職業倫理 (山内孔・掛水高志)	◎子ども理解の心理的アプローチ(調査法) (橋本巖・榎木暢子) ◎データを活用した学校経営(調査法) (露口健司・尾川満宏)	◎教師のライフヒストリー省察と資質能力開発 (白松賢)	巡回訪問指導予定	実習事前事後指導等 エクステンション
集中	◎心の教育の理論と実践 (太田佳光・山内孔・遠藤敏朗) ◎生徒指導・進路指導の実践研究 (城戸茂・尾川満宏・藤堂浩伸) ●教員プログラム尾開発演習 (高橋葉子・露口健司) 単位互換授業 ●学校改善の実践的研究 (露口健司) 単位互換授業				

※実習について、ストレートマスターは、木曜終日と、水曜午前。現職は木曜のみ。
※◎は専攻共通基礎科目、●はリーダーシップ開発コース科目

【後期】

	月	火	水	木	金
第1時限		△教科指導力高度化演習 (教科領域コース)	巡回訪問指導予定	巡回訪問指導予定	課題研究
第2時限	●人材育成演習 (高橋葉子・露口健司)	○教材開発高度化演習 (吉村直道・高橋葉子・遠藤敏朗・井上洋一・立松大祐・太田佳光)	巡回訪問指導予定 ●信頼を構築する学校危機管理 (吉田信吾・山内孔)	巡回訪問指導予定	課題研究
第3時限	●地域とともにある学校の経営 (遠藤敏朗・高橋葉子・兵藤清一・尾川満宏)	○学級経営の事例研究 (白松賢・城戸茂)	実習校からの移動	巡回訪問指導予定	○進路指導の実践研究(尾川満宏・城戸茂) ●エビデンスに基づく教育政策・事業分析(露口健司・兵藤清一)
第4時限	○特別な教育ニーズへの対応 (榎木暢子・苅田知則)	○集団づくりの道徳論的アプローチ (太田佳光・山内孔) ○デジタル教材開発とその利用方法 (森慎之助・大西義浩)	○生徒指導機能を生かした学習指導 (山内孔・藤堂浩伸) ○ソフトウェアを活用した校務支援 (玉井輝之・森慎之助)	巡回訪問指導予定	○生徒指導と特別活動の実践研究(城戸茂・藤原一弘) ○プログラミングを活用した授業実践 (大西義浩・玉井輝之)
第5時限	○児童生徒・保護者の教育相談実践 (信原孝司・榎木暢子) ○ICTを活用した授業実践開発 (大西義浩・玉井輝之)	※教育実習 事前・事後指導	○教育課題解決のための教育プログラム開発実践 (白松賢・藤原一弘)	巡回訪問指導予定	※四国4大学遠隔授業 (現職教員)
集中	○子どもの問題行動の事例研究(信原孝司・山内孔) ●カリキュラムマネジメントと校内研修(倉本哲男) ◎学級経営の理論と実践(藤原一弘・遠藤敏朗・城戸茂) ◎学校・家庭・地域の連携論(遠藤敏朗・高橋葉子・青井倫子)				

四国4大学での双方向型遠隔通信授業

香川大学教職大学院・鳴門教育大学教職大学院と 合同遠隔授業を実施しました!!

8月21日（火）と22日（水）、四国教職大学院交流事業として、本学教職大学院、香川大学教職大学院と鳴門教育大学大学院の間で特別支援と道徳の遠隔授業が、完成したばかりの「ICTクラスルーム」で行われました。21日（火）は、香川大学教職大学院の植田和也教授、齋藤嘉則教授から「発問について考えよう」というテーマで道徳の講義が行われました。22日（水）は、香川大学教職大学院の武蔵博文教授から「個に応じた支援 教科学習でのつまづき困難への指導」というテーマで特別支援教育の講義が行われました。各大学間での質疑や、相互発表・交流活動を円滑に進めることができました。院生にとって、大変充実した2日間でした。次回の遠隔授業は、8月28日（火）と29日（水）に本学教職大学院の露口健司教授が「学校改善の実践的研究」をテーマとして行う予定です。



先端技術を授業に活用することで、見やすさと分かりやすさが一段とアップします。受講生の意欲と集中力も持続します。愛媛大学教職大学院は、後期も引き続き、先端技術×双方向型遠隔通信授業に、チャレンジします。



オーダーメイド実習



個々の成長/研究課題に応じた オーダーメイド実習

- 個々の職能成長課題に最大限に配慮した**オーダーメイド実習**。連携協力校**110校から実習校を選択**することが可能です。学びたいことが学べる実習システムです。（令和元年度より、高校17校、特別支援学校11校が参加）
- 学校側の実習担当者は、**エキスパート級の教員**。実務家教員、学校管理職、実習担当教員、研究者教員らのチームで実習を計画し指導にあたります。
- リーダーシップ開発コースでは、効果的な学校経営を実践している学校を県内から選び、実習として、定期的に学びに行くことができます。

M2の4月上旬に実施されるスタートアップ実習

M2の実習校での非常勤講師システム

研究指定校実習

研究指定校実習 ただ今、真最中!!

健康教育
半世紀!!

ICT活用
21世紀型スキル
西条市内小学校

直接交流と
間接交流で、
他校の仲間
との共学



合同の校内
研修にも
参加!!



遠隔システム合同授業

特色ある道徳教育推進事業
大洲市立大洲小学校



他者と共に考え、自己を見つめる!!



研修への参加

ヘルスプロモーション
東広島市立小谷小学校



すっきりタイム



学校・家庭・地域三位一体
生涯にわたる健康づくり

高校教育
A・Lの手法の導入



松山中央高等学校、今治北高等学校で、学校訪問研修が実施され、M1、M2の院生が、学びの機会をいただきました。

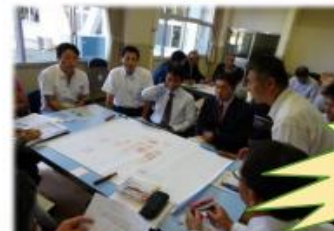
魅力ある学校づくり

オーダーメイドの
多様なテーマ

各テーマの研究指定校を訪問し、授業参観、学校環境視察、交流体験等の実習を行います。

新教育課程特別活動
沖縄県那覇市立
松川小学校
12月9日～12日実施

コミュニティスクール



熟議が繰り広げられました

「コミュニティ・スクールと地域活性化」の学習会に3名の院生も参加しました。復旧途中の宇和島市立吉田中学校

地域とともにある学校づくり

エクステンション活動（部活動）



教職大学院の部活動 エクステンション活動

講座スケジュール	
地域連携	1 7/31⑥ 9:00～13:00
	2 8/1⑥ 9:00～17:00 (途中1時間休憩・学生食堂で大学生体験)
	3 8/2⑥ 9:00～13:00
教育福祉	1 7/28⑥ 13:00～17:00
	2 8/6⑥ 13:00～17:00
	3 8/7⑥ 9:00～17:00 (途中1時間休憩・学生食堂で大学生体験)
教育相談	1 9/26⑥ 9:00～17:00 (途中1時間休憩・学生食堂で大学生体験)
	2 10/24⑥ 13:00～17:00
	3 11/28⑥ 13:00～17:00
ICT支援	1 12/26⑥ 13:00～17:00
	2 12/27⑥ 13:00～17:00
	3 1/23⑥ 9:00～17:00 (途中1時間休憩・学生食堂で大学生体験)
課題研究	1 2/27⑥ 振り返りとまとめ① 7時間
	2 3/27⑥ 振り返りとまとめ② 8時間

※講座1ヶ月前頃に、愛媛大学教職大学院WEBサイトに詳細を掲載します。松山市内の先生方にはミラリスにて案内いたします。

会場

● 愛媛大学教育学部
〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

土日日は学生食堂を利用できます

- PALTO(城北食堂1階)
- RECESS(城北食堂2階)
- MAPLE

愛媛大学 | 教職大学院
EHIME UNIVERSITY

お問い合わせ 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
愛媛大学教育学部教務チーム「チーム学校スペシャリスト養成プログラム」係
TEL.089-927-9370

ホームページ <http://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/>

※松山市の教員には、毎月、ミラリスを通して、さらに詳細な研修講座の案内が配信されます。
※松山市以外の教員は、愛媛大学教職大学院ウェブサイトより、研修講座案内をご確認ください。

愛媛大学履修証明プログラム/大学連携セミナー

令和2年度 愛媛大学 チーム学校スペシャリスト 養成プログラム 募集要項

お申し込みはコチラから!

令和2年 令和2年 令和3年
募集期間 4/20(月)～5/29(金) プログラム 7/28(火)～3/27(土)

会場 愛媛大学教育学部(松山市文京町3)

主催 / 愛媛大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻(教職大学院)
後援 / 愛媛県教育委員会、愛媛県教育研究協議会、愛媛県教育会



教職大学院の部活動 エクステンション活動

- 災害ボランティア派遣
 - ・ 7月12日、16日
 - ・ 宇和島市立吉田中学校
 - ・ マイクロバスをチャーターし、組織体制で支援



教職大学院の部活動 エクステンション活動

- 年間2回のソフトボール大会
教育学部生、教職大学院生、学部・大学院OB、大学教員らが、6チームを編成し、激戦を繰り広げた。





ESD授業づくり研修会 (第1回)



2020年

～ESDの授業づくり、そのポイント～

9月12日(土) 13:00-17:00

場所 愛媛大学教育学部1号館401講義室
(松山市文京町3番)

講師 河野 晋也 先生
(大分大学 大学院教育学研究科 教職開発専攻 講師)

昨年度まで、奈良教育大学附属小学校で教員をされていました。また、日本ESD学会の事務局長もされています。先生ご自身はESDの授業実践が豊富なことはもちろん、これまで全国各地でESD授業づくりの研修を実施されてきている方です。

- 内容**
- ① 講師による講演(講義・演習)
 - ・ ESD/SDGsについて
 - ・ ESDを学校現場で実施するためのポイント
 - ・ 実践事例
 - ② ワークショップ、質疑応答
 - ③ 交流タイム、情報交換・情報提供

どなたでも参加
できます。
参加費は必要
ありません。

- その他**
- ① 会場には、駐車場がありません。近隣の駐車場または公共交通機関をご利用の上、お越しください。
 - ② 会場の関係で、定員になり次第、申込受付を締め切ります。
 - ③ 国や県から出されている新型コロナウイルス感染防止策を講じた上で、実施します。またマスク着用、検温などにご協力いただけない方の参加はご遠慮ください。
 - ④ 新型コロナウイルスの感染状況により、実施日の変更や中止、WEBでの開催になる可能性もあります。参加者には決定次第、お知らせします。

申し込み方法

下記URLからお申し込みください。9月10日(木)まで受け付け予定ですが、定員に達した場合、受付を終了する場合があります。ご了承ください。

<https://forms.gle/foR5d9qGPv734jHz6>



お問い合わせ

愛媛大学教育学部教育臨床講座 藤原 一弘
(愛大・ESDラボ)
TEL: 089-927-9531
fujiwara.kazuhiro.xb@ehime-u.ac.jp

令和2年度

大学連携セミナー 『主権者教育研修会』

愛媛大学教職大学院・松山市教育センター事務所
シティズンシップラボ

このような疑問をお持ち方はぜひご参加ください!!

- 主権者教育って何だ!?
- コンピテンシー・ベースの授業作りの方法は?
- 地域社会と連携した授業作りの方法は?
- 異校種でどのような授業をしているの?

本研修会では、
小中高等学校における主権者教育の授業作りと評価
について学ぶことができます!

- 本講座は、各回ごとに申込をして参加することができます。
(裏面を参照してください。)
- 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、講座の日程・内容が変更・中止になる可能性があります。(その際には、HP等で連絡をいたします。)
- 国や県から発表されている感染防止策を講じて開催します。(マスク着用や検温にご協力いただけない方は参加できません。)
- 状況により、愛媛県外の方はオンラインでの参加になることもあります。
(オンラインでの参加方法等に関しては、該当者に直接お知らせします。)
- 参加料無料 申し込みは先着順。定員になり次第〆切。

お申込みお問い合わせ: 各講座の案内は開催日の約1か月前に文書及びHPなどでお知らせします。直接文書が必要な方は以下のアドレスに連絡をいただければお送りします。松山市立学校の教職員の方々はミラタイムにて連絡をさせていただく予定です。

シティズンシップラボ事務局(愛媛大学教育学部井上昌善研究室) 愛媛県松山市文京町3番
<http://citizenshiplab.org/> (シティズンシップラボwebpage)

PC:inoue.masayoshi.xk@ehime-u.ac.jp (井上アドレス) TEL.089-927-9416(研究室直通)

教職大学院の調査旅行 エクスカーション活動

- 平成28年度 地域連携先進地視察（栃木県・岡山県）
- 平成29年度 九州名門工業高校視察（熊本・大分・福岡）
- 平成29-30年度 台湾研修旅行
- 平成30年度 九州名門商業高校視察（熊本・大分・佐賀・福岡・広島）

リーダーシップ開発コースの院生及び希望する現職教員は、つくば中央研修の「学校組織マネジメント指導者養成研修」に（無料で）参加しています。

えひめ教師塾

えひめ教師塾

えひめ教師塾は、若年教員や教員志望の学生を対象に、休日を利用した自主的な研修を行うことを通して、教職に対する情熱・使命感を高めるとともに、教師としての実践的指導力の向上を図る研修です。



全8回 土曜日に開催。
申込みは1講座から可能です。

実践的指導力の向上を目指して

えひめ教師塾

第1回 未来を拓くえひめの教師

第2回 学級づくり・学級経営
のポイント

第3回 ICTで実現する
未来の授業

第4回 特別な教育的ニーズ
のある子どもの理解と支援

第5回 身に付けておきたい
教員の基礎知識

第6回 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた
授業づくり

第7回 良好な人間関係を築く
ために -子どもの思い・保護者の思い-

第8回 愛顔輝くえひめの教師

各講座開催日の1週間前まで参加申込を受け付けます。

受講対象者は、小・中・県立学校の教員（講師等も含む）と教員志望の学生です。多くの仲間とともに、実践的指導力の向上を目指して、一緒に学びませんか。



共に学ぼう教師塾

愛顔あふれる教師塾

必ず役立つ教師塾

行ってよかった教師塾

未来が輝く教師塾

平成30年

第1回	5月19日(土)
第2、3回	5月26日(土)
第4、5回	6月9日(土)
第6、7回	6月23日(土)
第8回	11月17日(土)



<主催・会場>

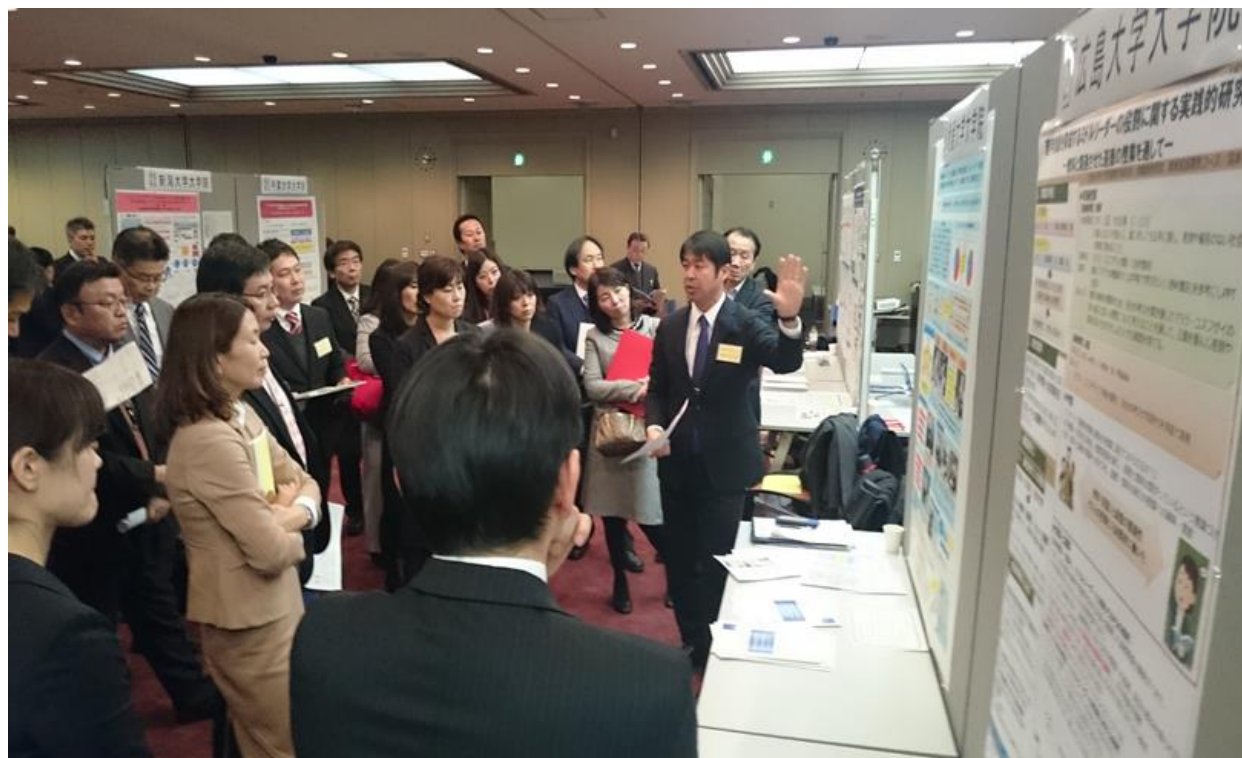
愛媛県総合教育センター 第1回のみ会場 愛媛大学
〒791-1136 松山市上野町甲650番地
TEL 089-963-3111 / FAX 089-963-3146
<https://center.esnet.ed.jp/>

駐車場あり
(生涯学習センター東側)



詳しくは教育センターホームページへ

実践研究の推進



教職大学院院生による研究成果の発表 【令和元年実績】

日本教職大学院協会 研究発表大会（現職1名、学部卒業者1名）

日本学校改善学会等、国内の学会発表（現職全員、学部卒業者多数）

愛媛大学教職大学院 研究発表大会（M1・M2全員）

松山市教育研究フェスタ（松山市現職4名、学部卒業者2名）

第1部会 コミュニティ・スクールと地域連携活動の可能性【中研修室】

司会：城戸茂・藤堂浩伸

- 地域人材育成のための高校魅力化チームづくり／露口加恵
- 地域連携活動は学力向上に結び付くのか／宇都宮彰一
- コミュニティ・スクールで育てる児童の市民性(citizenship)／井出和宏
- コミュニティ・スクールの導入効果／宝本将

第2部会 若年層・中堅教員の人材育成【小研修室1】

司会：榎木陽子・山内孔

- 若年層教員のキャリア発達に関する研究／兵頭俊昭
- 今後の部活動の在り方と組織マネジメント／忽那定範
- 子どもの人間関係をひらく言葉の力の育成
-子どもの言語能力の変化に着目して-／松本 梨絵
- 社会情動的スキル（非認知能力）を育むカリキュラム・マネジメントの在り方／渡邊尚志

第3部会 学級活動・生徒指導・キャリア教育【小研修室2】

司会：尾川満宏・藤原一弘

- 教師の学級経営観が児童に及ぼす変化／岡田聖
- 教師の専門性に関する一考察／増田有紗
- 情報モラル教育を中心とした生徒指導／友近秀章
- 特別活動と総合的な学習の時間を軸とした中学校キャリア教育の実践研究／大塚直也
- 配慮言語行動に基づく言葉がけ／野口純

第4部会 主体的・対話的で深い学びの実現【小研修室3】

司会：大西義浩・立松大祐

- 主体的な学びを促す授業づくり／徳永未樹
- 生徒の深い学びにつながる「問い」の実践的研究／森本涼太
- 深い学びを目指したメタ認知的支援の検討—数学的問題解決を通して—／粟林言葉
- 古典に親しむための ICT 教材の活用／窪田智弘
- 自己決定理論に基づく世界史学習における動機付け／鍾尾祥太

第5部会 学力・学習意欲と道徳性の向上【3 階会議室】

司会：向平和・兵藤精一

- 学習の定着を図る効果的なアウトプット活動のあり方／黒河新
- 配慮を必要とする児童への学力・学習意欲の向上にむけた支援／高橋元氣
- 数学学習における論理的に説明する活動を通じた数学的表現力の育成について／高岡仁哉
- 体育授業を通じた道徳性の獲得と向上／河野寛太
- 生徒が求める理科の教師像に関する調査／増田有作

第1部会 働き方改革と人材育成【中研修室】

司会：露口健司・掛水高志

- 教員の主体性を生かした業務改善研修プログラムの実践とその効果
-業務改善推進主任のリーダーシップを中心に-／玉井真一
- 教職員のやりがいと幸福感を高める業務改善研修と部活動改善研修の開発的研究／児島哉也
- 若手教職員の職能成長に関するパネルデータ分析／片岡克哉
- 統合型校務支援システムの効果検証／樽垣賢一

第2部会 学級経営と自己指導能力の育成【小研修室1】

司会：白松賢・遠藤敏朗

- カリキュラム・マネジメントによる健康教育プログラムの開発
-ヘルスプロモーションアプローチによる自己効力感の育成に着目して-／工藤浩典
- 特別活動を活用した学びの基盤づくり
-中学校話し合い活動の活性化に向けて-／角田鉄平
- ハビトゥス概念による学級経営の再検討
-学級の文化資本の調整に着目して-／竹本啓貴
- 学級経営の再構成—非認知的能力育成に着目して—／高智行志
- エスノグラフィーの手法を用いた学級経営の実践的研究
-学級活動を通じた学級経営の充実に着目して-／古泉啓悟

第3部会 地域連携と社会に開かれた教育課程【小研修室2】

司会：橋本巖・高橋美子

- 商業高校における生徒の地域ネットワーク拡張と心の拠り所／青野純士
- 地域連携を通じた強制的思考の育成
-小学校「総合的な学習の時間」「特別活動」の実践を中心として-／渡部春菜
- 主体的で多面的・多角的な思考を促す道徳授業づくり
-効果的な「自我関与」の手法と社会科の既習事項の活用を検討を通して-／佐藤晴紀
- 思考ツールを取り入れた中学校社会科の授業づくり／田坂香菜

第4部会 学習指導と授業改善【小研修室3】

司会：吉村直道・池田哲也

- 算数科における授業参加に関する実践研究
-自己内対話を促す教師の発問・発話技能に着目して-／長谷川敦也
- 主体的に学習する力を育むための授業時間外における取り組み
-ひらめきの視点から-／溝田翔一
- 見方・考え方を豊かにする話し合い活動の実践研究
-高等学校国語科における解釈的読みの価値変容に着目して-／原田侑宜
- 中学生における動機づけ調整方略についての検討
-受験期の学習観に着目して-／松田美穂

愛媛大学教職大学院

PROFESSIONAL SCHOOL FOR TEACHER EDUCATION
EHIME UNIVERSITY

実践研究報告書

PRAXIS AND RESEARCH REPORT

Volume 1 March 2018

第1号 2017年度刊行

第2号 2018年度刊行

第3号 2019年度刊行

教員組織



2020年度 教職大学院の教員組織 (専任教員)

http://ed.ehime-u.ac.jp/kyoushoku/education/education_05/

約80名の教員が指導にあたります!!

researchmap

日本語 | English 新規登録 ログイン



露口 健司
ツユグチ ケンジ (Kenji Tsuyuguchi) 更新日: 04/25

研究キーワード	研究分野	経歴	学歴	委員歴	受賞	論文	MISC	書籍等出版物	講演・口頭発表等
担当経験のある科目(授業)	所属学協会	共同研究・競争的資金等の研究課題	学術貢献活動	社会貢献活動					

メニュー

マイポータル

研究ブログ

資料公開

共著者の一覧

基本情報

所属 [愛媛大学 教育学研究科](#) 教授

学位 博士(教育学)(九州大学)

J-GLOBAL ID [200901042143798944](#)

研究キーワード 7

[社会関係資本](#) [信頼](#) [リーダーシップ](#) [教職論](#) [学校改善](#) [幸福](#) [ワーク・エンゲイジメント](#)

研究分野 1

・ [人文・社会 / 教育学 /](#)



高木 嘉
2020-02-29
14:14:33 更新

教職大学院の教員組織 ※実務家教員

[リーダーシップ開発コース]

[露口 健司](#)

[尾川 満宏](#)

※[山内 孔](#)

※[池田 哲也](#)

※[兵藤 清一](#)

※[高橋 葉子](#)

※[掛水 高志](#)

[教育実践開発コース]

[白松 賢](#)

[橋本 巖](#)

[吉井 倫子](#)

[大西 義浩](#)

[太田 佳光](#)

※[城戸 茂](#)

※[藤原 一弘](#)

※[遠藤 敏朗](#)

※[藤堂 浩伸](#)

入試・教員採用試験 実績



H28年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	17名	15名	14名

H29年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	6名	6名	6名
教育実践開発コース	10名	20名	13名	13名

H30年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	22名	15名	12名

H31年度入試実績

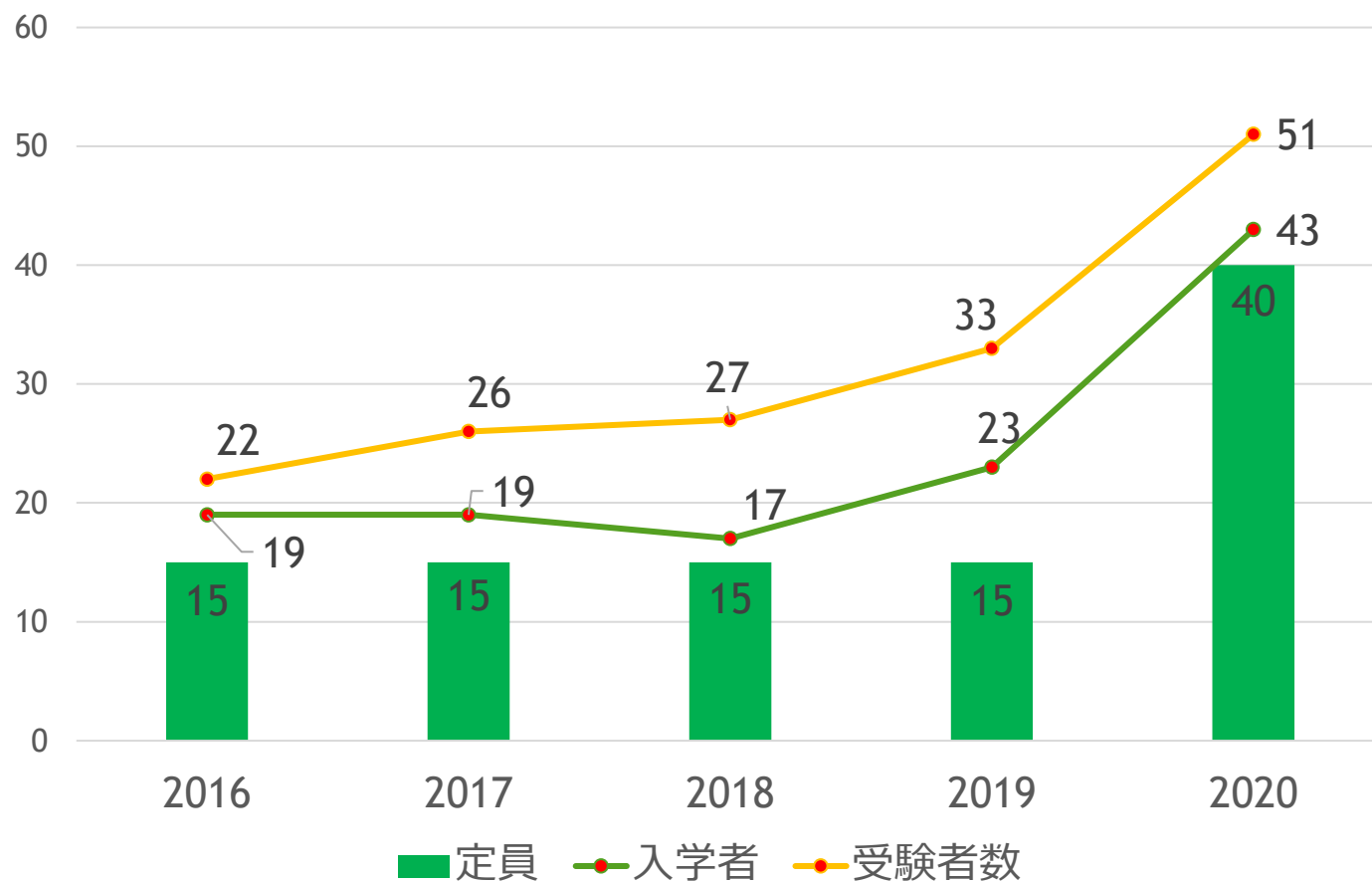
	定員	志願者	合格者	入学者
リーダーシップ開発コース	5名	5名	5名	5名
教育実践開発コース	10名	28名	18名	18名

R2年度入試実績

	定員	志願者	合格者	入学予定者
リーダーシップ開発コース	5名	3名	3名	3名
教育実践開発コース	10名	13名	12名	12名
教科領域コース	15名	28名	24名	21名
特別支援教育コース	10名	7名	7名	7名
計	40名	51名	46名	43名

志願倍率1.28倍

右肩上がりの受験者数!!



※2020は2月3日時点の入学予定者

- 2年猶予利用者30-50%
- ストマスの学内進学者率約80%
- 愛媛義務教採合格率4年連続100%
- 退学率・休学率 4年連続ゼロ

教員採用試験結果【教育実践開発コース／愛媛志願者】

H28年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	6	6	100%
愛媛県 中学校	6	6	100%
愛媛県 高等学校	0	0	—
合計	14	14	100%

H29年度入学生

	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	6	6	100%
愛媛県 中学校	3	3	100%
愛媛県 高等学校	1	1	100%
合計	10	10	100%

H30年度入学生

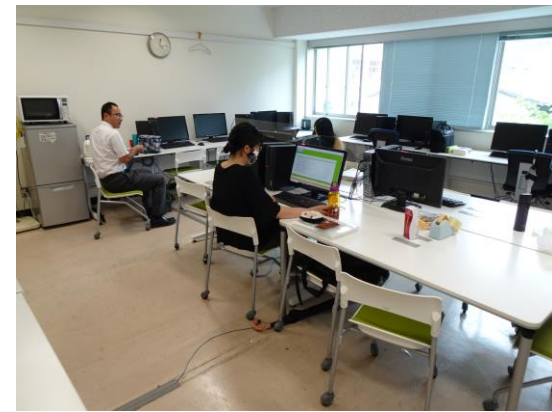
	受験者	合格者	合格率
愛媛県 小学校	3	3	100%
愛媛県 中学校	4	4	100%
愛媛県 高等学校	0	0	—
合計	7	7	100%

募集要項について



- ● ●
- 受験生の方へ**
案内パンフレット、方針、進路
- 地域・一般の方へ**
最新情報、地域活動
- 教育関係者の方へ**
教育支援活動、紀要
- 在学生の方へ**
教育実習、授業日程
- 卒業生・保護者の方へ**
教育学部同窓会、お問い合わせ先
- 教職員向け情報**
※学内限定公開

- 新着情報** [一覧](#)
- お知らせ** 2019/08/09 第2回とべ動物園大人向けカルチャースクールを開催
 - お知らせ** 2019/08/09 「SDGs 食堂から未来を学ぶ」講演・公開講座を開催します
 - 出来事** 2019/08/07 第51回教育研究論文（愛媛県教育研究協議会）に附属小学校・中学校教諭の論文が入賞しました
 - お知らせ** 2019/07/12 小学校高学年向け講座「動物の不思議を探しながら動物園の役割を考えてみよう」を開催します【8月10日】
 - お知らせ** 2019/07/02 令和元年度 愛媛大学中学校教諭二種（英語）免許法認定講習・認定通信教育の開講について
 - 出来事** 2019/06/28 愛媛大学教育学部と公益財団法人愛媛県動物園協会との連携協力に関する覚書の調印式を行いました
 - お知らせ** 2019/06/19 中学生を対象に、夏休み数学学習会「数学で探しよう！」を開催します【8月16日（金）】



出願資格（専攻全体）

- 基本的に大卒で1種免許状所有者（取得見込み含む）
※これに該当しない方は事務にご相談ください

出願資格（現職教員等）

- リーダーシップ開発コース
 - 5年以上の教員経験と主任職経験等がある
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）
- 教育実践開発・教科領域・特別支援教育コース
 - 5年以上の教職経験
 - 連携協力による派遣職員（附属学校等が対象）

出願書類等

- 入学願書
 - 【リーダーシップ開発コース志願者は職歴欄に主任職経験等も記入】
- 受験票・写真票
- 写真
- 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書、あるいは学位授与証明書
- 教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し
- 教育職員免許状取得見込証明書
- 成績証明書
- 課題レポート
- 推薦書【現職教員等のみ】
- 実習科目免除申請願及び実践・研究実績等【現職教員等のみ】**
- 検定料払込証明書
- 受験票等送付用封筒
- 志願者名票

実習科目免除申請について

修了要件10単位の実習科目のうち、「連携校実習1」「特別支援教育連携校実習1」を除いた最大6単位までを免除できる制度です。

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

選抜方法

- 学力試験科目及び試験時間
 - 面接（口述試験を含む）
 - 提出された書類、課題レポートに基づく面接
 - 9:00～ （1名15～20分）

課題レポート【2課題提出】

- 課題a

勤務校（過去の勤務校を含む）及び、実習校やボランティア校等における教育活動において、「①最も力を入れた活動」、「②成果と課題」及び「③その活動を通して学んだこと及び高まった教師としての資質・能力」について記述しなさい。【1,000字程度】

- 課題b

選択したコースにおいて、入学後に取り組みたい実践研究について、「①研究テーマ」、「②テーマ設定の理由」及び「③研究の内容及び方法」について記述しなさい。【1,000字程度】

配点

- 書類審査：100点
- 課題レポート：100点
- 面接（口述試験含む）100点

- 合計 300点満点

採点・評価基準

● リーダーシップ開発コース

- ・書類審査：リーダーシップ開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：学校経営に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：学校経営に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

● 教育実践開発コース（例）

- ・書類審査：教育実践開発に係る適性について評価します。
- ・課題レポート：教職に関する専門的学力について評価します。
- ・面接：教職に対する意欲・課題意識・分析力等について評価します。

長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程の履修を認めることができる長期履修学生制度を導入しています。

長期履修学生を希望することができる者は、以下の通りです。

- ①現に職業に従事している者
- ②教育職員免許状を取得するために長期履修が必要と認められる者
- ③その他やむを得ない事情があると研究科長が特に認めた者

修業年限

長期履修学生制度の適用を受けた学生の修業年限は、学則に規定された就業年限（2年）に1年を加えた年数とします。なお、修業年限の変更はできません。

授業料

入学料 282,000円
授業料 半期267,900円

- 入学料・授業料の免除制度
- 奨学制度 日本学生支援機構
 - ・無利子 月額50,000円, 88,000円から選択
 - ・有利子 月額5万, 8万, 10万, 13万, 15万から選択

1年制修了プログラム

4単位以上の実習科目免除が認められ、試験に合格した場合、1年修了プログラムを履修することになります。

1年制修了プログラムを履修する現職教員には、修了翌年にフォローアッププログラムへの参加が義務づけられます。週末又は夏季・冬季休業期間中に開講される課題研究フォローアップゼミに参加し、教職大学院研究発表大会において研究成果を発表します。

質問タイム

